

全国一高い大阪府統一国保料への統一は中止し、 国保料の大幅引き下げと独自減免の復活を求める要請書

連日のご奮闘に心より敬意を表します。

2026年度の大阪統一国保料（府平均・一人当たり）は163,911円で、前年度から1,747円の値上げです。物価高騰の中で保険料の負担は大変重く、原油・資材価格の上昇などの影響で、中小業者の営業と暮らしは深刻な打撃を受けています。多くの被保険者が困っているこんな時だからこそ、今すぐに保険料の大幅引き下げが必要です。

統一化前と比べ一人当たり平均の保険料は3割も上昇しています。納付金の算定方法が市町村の実情に合っておらず、自治体の赤字は拡大しています。また保険料軽減に財政を使わないため、ますます滞納が増加します。市町村の財政を壊し、被保険者に厳しい負担を強いる統一化は即刻止めるべきです。安心して医療を受け生活できる権利を守るために、以下、要望します。

【要請事項】

- 1、「大阪府国保運営方針」は地方自治法第245条の4第1項に基づく「技術的助言」であり、法的拘束力を持つものではなく、法定外任意繰り入れはこれまで通り貴自治体の裁量で行うことができる。「国保府内統一化」を中止するよう大阪府に強く求め、貴自治体としてただちに基金・剰余金、法定外繰り入れなどを活用して国保料を協会けんぽ並みに引き下げることを。保険料・一部負担金の減免制度を拡充すること。
- 2、国保料の所得減少減免について、所得確認資料として申請者が作成した集計表や帳簿など所得が確認できる資料で認めること。一律・機械的な運用はやめ、申請者に寄り添った柔軟かつ丁寧な相談を行うこと。収入状況申告書は、事実発生（収入減少）月と申請月の組み合わせによって記入が複雑になり分かりにくい。申請者と区職員に多大な負担を押し付ける運用は直ちに直直し、他市にならって分かりやすく簡素な様式に改めること。
- 3、国保に傷病・出産手当を創設し、全ての国保加入者を支給対象とすること。
- 4、特定健診の受診率向上のため健診項目の充実や助成額の拡充など実効性のある施策を行うこと。
- 5、保険証について
 - ・「マイナ保険証」取得の有無にかかわらず、全ての被保険者に資格確認書を届けること。
 - ・1年以上の滞納世帯に対して医療機関の窓口で10割負担を課す制裁措置（特別療養費の支給）は行わないこと。万一行う場合でも、18歳未満の子どもと病気や事業の休廃止など「特別の事情」がある者は対象外であることを徹底し、機械的な運用で被保険者の受療権を侵害することがないよう「納付奨励」「『特別な事情』の聞き取り」を丁寧かつ慎重に行うこと。交付後も「特別の事情」が確認できれば直ちに資格確認書へ切り替えること。
- 6、被保険者から納付困難の申出があれば申請がなくても納税緩和措置を案内し、積極的に活用すること。差押え禁止対象額の増額を踏まえ、生活と営業を脅かす徴収は行わないこと。給与や売掛金が振り込まれた口座は差押えしないこと。
- 7、以下、国に求めること。
 - ・公費1兆円を投入し、均等割・平等割を廃止すること。所得割の計算は旧但し書き方式から住民税方式に改めること。
 - ・「こども・子育て支援金」は少子化対策の財源を国保など医療保険料への上乗せ徴収で賄うもので、さらなる負担増と分断をもたらす。子ども・子育て支援の財源を社会保障の負担増や給付減で賄うことはやめること。
 - ・外国人排除・差別につながる国民健康保険料の前納制は実施しないこと。
 - ・受診抑制や治療断念につながる「高額療養費」の負担限度額引き上げはやめること。
 - ・議員による“国保逃れ”の実態を徹底的に追及し、不正をさせない仕組みを強めること。

以上

要望書と併せて以下の件についても文書でご回答ください
(全て浪速区についてです)

●一昨年 昨年の減免申請数 認定数 認定額

●現在の資格確認書 マイナ保険証の発行数

●過去5年間の滞納額(各年度ごと)

●現在、資格確認書かマイナ保険証のどちらかを全世界に発行されていると思いますが、
国保課の働きかけ(氏名住所等本人を特定できるものは必要としない)

☆年齢 家族数 所得 老人 子供の扶養の有無 本人 家族に療養中の人はいるのか。
資格証交付は何年継続しているのか。保険給付の一時差し止めは行われていないか。

☆納付指導の機会をどのように取って来たのか(郵送 電話 訪問等)特別の事情に
ついて調査はしたのか。被保険者証の返還をどのように求めたのか。特別の事情の申
し出 弁明の機会の付与についてどのように周知したか

●一部負担金減免制度の申請数 認定数

●倒産 解雇など雇い止めによる離職で保険料が減額となった世帯数

●保険料を年金から天引きしている世帯数

●年金から天引きされている世帯で過年度分に滞納額がある世帯数

●後期高齢者医療制度に加入している浪速区民の数

●その内 保険料を普通徴収としている人数

●後期高齢者医療制度に加入している浪速区民のうち保険料を滞納している人数と滞納額

●後期高齢者医療制度に加入の浪速区民に対して発行している
留置きの数

窓口

●後期高齢者医療制度加入の浪速区民で一部負担減免制度の申請数 認定数

●保険証の未交付が多いようだが、交付する為の訪問時間は朝何時から夜何時

●何人に財産調査をしてその内 差し押さえた人数と総額（この総額が差押さえ額の何%にあたるのか）